

お客さまこんにちは

堂平天文台 星と緑の創造センター

〒355-0366 埼玉県比企郡ときがわ町大字大野1853番地
☎080-2373-8682 <https://www.town.tokigawa.lg.jp/info/27>



山頂広場から 関東平野を一望

埼玉県のほぼ中央部に位置する、ときがわ町。その中心部に近いJR八高線・明覚駅から車で約40分。山道を登っていくと、同町と小川町、東秩父村の境界、標高876メートルの堂平山頂に堂平天文台「星と緑の創造センター」があります。

山頂広場などから関東平野が一望できます。「埼玉県には海がありませんが、空気が澄んでいるとここから東京湾も見渡せますよ」と、ときがわ町から委託を受けた指定管理者・星と緑の管理委員会



ドーム型観測所

委員長の岩田泰治さま。夜景を楽しむ人も多く、ドライブやツーリングスポットとしても有名です。

また、天文台近くの白石峠を通り、秩父方面へ抜ける県道は、2004年の「彩の国まごころ国体」の自転車競技ロードレースのコースに採用。高低差700メートルに及ぶコースは、その厳しさゆえに有名となり、「サイクリストの聖地」に。現在では、多くのサイク



91cm反射式天体写真儀

リストたちがこの地をチャレンジに訪れます。

第2、第4金曜日に観望会

山頂に建つドーム型の観測所は、1962（昭和37）年に「東京大学東京天文台堂平観測所」として開設。1988年に国立天文台堂平観測所に組織変更され、2000年3月に閉所するまで、20世紀の日本の天文学をリードしてきた天文台でした。

観測所ドームに入り、2階に進んでいくと、ドームの中央部に大きな望遠鏡「91cm反射式天体写真儀」が備え付けてあります。星と緑の管理委員会で職員として働く大島紀夫さまは、元天文台技師。「この望遠鏡は当時最高の技術を駆使して、日本光学工業（現ニコン）が製作したものです。焦点距離を長く（倍率を高く）して、狭い範囲でもより詳細に観察できるのが特徴です」と話します。設置当時は、国産で最大の有効口径を持っていました。

現在は、毎月第2、第4金曜日に、宿泊者を対象に行う観望会でこの望遠鏡で天体観測ができます。「観望会では、季節に合わせた天体や星の観測を行っています」（大島さま）。



観測ドーム内の寝室



モンゴル式テント内部



ソロキャンプも人気のテントサイト

観測所に宿泊、キャンプも人気

その特徴は、この観測所ドームに宿泊できること。ドームにある客室には、5台のベッドが並びます。奥に進むと、関東平野が見渡せるバスルームも。食事は、1階の食堂で、宿泊者が調理して取るスタイルです。

観測所は、2000年3月に国の観測所としての役割を終えた後、同年8月に都幾川村（現ときがわ町）に施設が譲渡されました。その後、村が電気や水道、室内外の改修工事を実施。2005年4月に「星と緑の創造センター」として営業を開始しました。

宿泊は、観測所ドームのほか、ログハウス内の和室、モンゴル式テントとバンガロー、また、芝生にテントを持ち込んで楽しむテントサイトがあります。最近のブームで、こうしたアウトドア施設の利用者の方が多いそうです。中でもおすすめは、モンゴル式テントです。「中央に採光部があり、寝転びながら星空を見ることができますよ」（岩田さま）。

これらの宿泊施設利用者向けにログハウスが併設されていて、屋内のバスルームとキッチン、談話室、屋外の炊事場などを宿泊者が

共用で利用できます。

炊事用に受付で販売している炭は地元・ときがわ町で焼かれた炭。「江戸時代にこのあたりは天領で、都幾川の炭は江戸城で御用炭として用いられました」と岩田さま。その炭を使って楽しむバーベキューは、また、格別なのかもしれません。

プロの視点での助言に感謝

人里離れた山頂の施設ということに関して、当協会の役割について伺いました。「電気がないと、照明はともかく、水道のポンプも動かず、何もできなくなります」と、ときがわ町役場商工観光課主査の松丸友重さま。「国立天文台から当時のまま引き継いだ設備が多いことから、関東電気保安協会さんには

プロの視点で設備を見てもらい、設備更新など適切なアドバイスをいただいています」と感謝の言葉が。また、大島さまからも「古い施設で漏電が怖い。漏電をきちんと点検いただいているのはありがたいこと」と評価いただきました。最後に岩田さまに「有料で宿泊しているお客さまのために、しっかりと安全に気をつけていただきたい」とのお言葉をいただきました。私たちも、電気の安全、そして作業の安全を第一に、皆さまに安全と安心を届けてまいります。



左から大島さま、岩田さま、松丸さま

MEMOメモ

営業期間：3～12月（1、2月は休業）

営業時間：3～10月 9時30分～17時30分

11～2月 9時30分～16時30分

1、2月は土・日曜日に予約受付業務のみ実施

宿泊料金：ログハウス和室、バンガロー、モンゴル式テント（小型）11,500円～／

（税込）モンゴル式テント（大型）13,800円～／

観測ドーム内客室 14,900円～／テントサイト 3,200円～

※1棟（1室）の金額。宿泊料金はシーズンによって変わります

※宿泊料金のほかに施設使用料（入場料、寝具および食器、調理器具レンタル料、駐車料金など）として1人あたり1,200円（小学生以上）がかかります

※テントサイト利用時は、宿泊料金に加え1人あたり600円（小学生以上）の施設利用料金がかかります